

## 宅配ドライバーのための交通安全管理情報誌

## SCRUM

みんなでSCRUM組んで無事故無違反をめざそう

## 目次

- 令和3年度定時総会開催…………… 1
- 令和2年度総括理事会開催…………… 5
- 第18回警視庁・SDA共催安全運転競技大会開催…………… 8
- 秋の全国交通安全運動開始に伴う警視庁池袋警察署出動式に参加……………13
- SDA初の自転車実技講習会開催…14
- フード・デリバリー従事者等に対する警視庁自転車実技講習会に参加……………15
- 各地の実技講習会実施状況……………16
- 令和2年度の講習会実施結果……………23
- 令和3年度無事故無違反運動参加状況……………23
- 社会貢献活動(チラシ配布)……………24
- 警察庁及び警視庁からのPDFリーフレットを会員各店舗に送信……………26
- 全日本デリバリー業安全運転協議会会員一覧表……………27
- 全日本デリバリー業安全運転協議会の概要…28

## 令和3年度定時総会開催



令和3年6月11日(金)14:30から、海運クラブ(東京都千代田区平河町海運ビル)で61名の出席者を得て、令和3年度定時総会、理事会、評議員会を開催した。会場は、前年度同様COVID-19の感染防止のため間隔を空けて席を設定した。浅野理事長の開会挨拶後、司会者が衆議院議員(現自由民主党政務調査会長)高市早苗先生の祝電及び警察庁高木隼人(たかぎ・はやと)交通局長の祝電を披露した。その後、4月1日付で入会したNECネクサソリューションズ(株)、(株)トキワ及び(株)ブレイズが挨拶及び会社概要説明を行った。

その後、入谷評議員に基調講話を頂いたのち、令和2年度事業実績報告に続き、警視庁交通部切刀(くぬぎ)管理官から、東京都セーフティドライバーコンテストで優秀な成績を収めた(株)ストロベリーコーンズ及び(株)デルソーレに対して警視庁交通部長感謝状が伝達され、同管理官から講評を頂いた。次に令和2年度決算報告、監事意見書発表が行われ、令和3年度事業計画案の「人事」で、6月に任期を迎えた江見理事、佐藤理事、村川理事を除く理事が再任され、理事による互選で浅野理事長と宮下副理事長が再任された。次いで理事会裁決により、同じく6月に任期を迎えた笠井評議員、佐々木評議員、石附評議員が再任された。

第三議題「講習会」の説明の前に指導講話に移り、警察庁交通局交通企画課大竹課長補佐、自動車安全運転センター秋山業務部長、(公財)暴力団追放運動推進都民センター 櫻榮(さくらえ)代表理事から講話を頂いた。

次いで令和3年度事業計画案の残りを説明したのち、令和3年度予算案が審議され、すべての議案が承認されたのち、宮下副理事長の閉会挨拶が行われ、16:42に会議を終了した。

令和3年度事業として「自転車部会東京支部」の設置が承認された。なお、東京都セーフティドライバーコンテストに関連して当協議会に対しても警視庁交通部長感謝状が授与された。

恒例の懇親会は、COVID-19の感染防止のため、前年度に続き中止となった。



会場の様子



議長の浅野理事長





入谷評議員の基調講話



NECネクサソリューションズ(株)の入会挨拶



(株)トキワの入会挨拶



(株)ブレイズの入会挨拶



功刀管理官による(株)ストロベリーコーンズへの  
警視庁交通部長感謝状の伝達



功刀管理官による(株)デルソーレへの  
警視庁交通部長感謝状の伝達



功刀管理官の講評



大竹課長補佐の指導講話



秋山業務部長の指導講話



櫻榮代表理事の指導講話



宮下副理事長の閉会挨拶



ロビーでの展示

## 令和2年度総括理事会開催

令和3年3月12日（金）15：00～16：34の間、（一社）日本倶楽部（千代田区丸の内3-1-1）大会議室において、警察庁交通局交通企画課 大竹課長補佐、自動車安全運転センター 岡島研修企画室長、佐々木評議員、入谷評議員御臨席のもと、37名が出席して令和2年度総括理事会を開催した。会議の冒頭、浅野理事長が挨拶を行い、「比嘉会長のお声掛けで発足した当協議会は今年で28年になる。当協議会は交通安全、防犯、民事介入暴力対策を三本柱として社会に貢献してきた。令和3年度には自転車部会を立ち上げて自転車の安全管理にも力を入れていく」と述べた。

次いで、木村新監事が挨拶を行ったのち、令和2年9月に入会した㈱イー・ピーホールディングスと10月に入会したジェネクス㈱が挨拶した。



浅野理事長の開会の挨拶



木村監事の挨拶



㈱イー・ピーホールディングスの挨拶



ジェネクス㈱の挨拶





議事に入る前に入谷評議員から基調講話を頂いた。講話の要旨は「前年の交通事故死者数は2,839人で過去最低を記録し、初めて二千人台となったが、二輪車乗車中の死者数は526人で四年振りに増加した（原付は減少、自動二輪は増加）。二輪車の指導員の養成と職場での安全教育に努めてもらいたい。また、歩行者の死者のうち70%が夜間である。反射材の活用にも努めてもらいたい」であった。

次いで司会者が令和3年3月に発足したデリバリーに関するマッチング・プラットフォームを有する企業が立ち上げた（一社）日本フードデリバリーサービス協会（JaFDA）について紹介した。また、第三議題で令和3年度に「自転車部会東京支部」を立ち上げ、自転車の交通安全管理については当協議会員以外の宅配企業も招いて実技・座学教育を行うとともに、JaFDAとも連携していきたいと述べた。

次に、警察庁交通企画課 大竹課長補佐から指導講話を頂いた。その要旨は「前年の交通事故死者数は過去最低を記録したが、未だ多くの方が交通事故で亡くなっている状況に変わりはない。コロナ禍の影響でデリバリー需要が高まる中、事故防止に努めてもらいたい。デリバリーにおける自転車の利用が増えたと思われるが、自転車利用中の死者及び重傷者の相手は8割が自動車だ。そのうちの半分以上を占める出会い頭の事故では、その8割に自転車側の法令違反が見られる。配達員への指導をしっかりとってもらいたい」であった。

次いで自動車安全運転センター 岡島研修企画室長から指導講話を頂いた。その要旨は「警視庁における職務歴。四年振りに自動車安全運転センター勤務となった（四年前は係長としてお世話になった）。中央研修所の業務。SDカードの有用性。無事故無違反運動やSDA セーフティコンテストへの積極的な参加を期待する」であった。



入谷評議員の基調講話



大竹課長補佐の指導講話



岡島室長の指導講話

16：05にすべての議案説明を終了し、議長（理事長）が質疑の有無を質し、質疑がなかったため裁決を行い、全議案が承認された。

ここで佐々木評議員に結びの講話をお願いした。佐々木評議員からは「コロナ禍の影響でリモートによる会議や大学生への講義ばかりであったので、こうして人と会ってお話ができることは嬉しい。28年前に大崎氏らがこの団体を立ち上げたとき、初代の顧問弁護士は大崎氏や私と同じ大学出身の抜山先生だった。私は二代目だ。大崎氏はよく頑張った。現在、デリバリー業界は伸びている。当協議会がますます発展することを期待している」とのお言葉があった。



佐々木評議員の結びの講話

最後に江見理事が閉会の挨拶を行った。要旨は次のとおり。

二つのお話をする。一つ目は「デリバリー市場はまだこれから急拡大する」ということだ。コロナ禍でデリバリー市場は伸びているが、市場規模は6千億円規模だ。外食全体の26兆円からすれば、デリバリーのウェイトは全体の2%と小さい。今後は更に急拡大するだろう。

二つ目は「安全・安心は『凡事徹底』に尽きる」ということだ。急成長している今だからこそ「安全・安心」を第一に営業しなければならない。人の命が最下辺にある。時間とコストをかけて誰にでもできることを誰にもできないくらい徹底する「凡事徹底」が大事だと考える。



江見理事の閉会の挨拶



## 第18回警視庁・SDA 共催安全運転競技大会開催

第18回警視庁・SDA 共催安全運転競技大会が令和3年11月5日（金）、警視庁交通安全教育センター（東京都世田谷区喜多見）で開催された。名誉なことに、今回も（一財）東京都交通安全協会後援による開催となった。

開会式においては、警視庁交通部 作道（さくどう）交通総務課長の御挨拶を頂いたのち、村川理事が挨拶を行った。その後、（一財）東京都交通安全協会 林安全対策部長、当協議会 野口顧問、浅原事務局長が司会者から紹介された。



受け付け風景



作道交通総務課長挨拶



村川理事挨拶



交通法規学科テスト

今回も COVID-19の影響で3社が参加を辞退し、5社7個チーム・24名の参加に留まった。競技は、団体の部で「セルートチーム」が初優勝を飾り、個人の部で「ピザーラチーム」の赤塚恭兵（あかつか・きょうへい）選手が総合優勝を飾った。チーム名（会社名）、チーム区分、選手数は以下のとおり。

チーム名(会社名)	区分	選手数	チーム名(会社名)	区分	選手数
ナポリの窯 (株)ストロベリーコーンズ	A	4名	銀のさら (株)ライドオンエクスプレスホールディングス	A	3名
	B	3名		B	3名
セルート(株)セルート		3名	サルヴァトーレクオモ (株)ワイズテーブルコーポレーション		3名
ピザーラ(株)フォーシーズ		5名			



13：15に開会式を開始、「交通法規学科テスト」、「法規走行競技」、「中低速車両感覚走行競技」の順に競技が行われ、採点・集計作業の時間を利用し、昨年に引き続き交通事故再現「スクエアード・ストレイト」の展示が行われた。そしてすべての行事を16：05に異常なく終了した。競技の様子は昨年に引き続きTVや新聞で紹介され、警視庁様のお蔭で当協議会の活動がより広く国民に知られるところとなった。



法規走行競技（1）



法規走行競技（2）



法規走行競技（3）



中低速車両感覚走行競技（1）



中低速車両感覚走行競技（2）



中低速車両感覚走行競技（3）

15:15~15:45の間、前回の第17回大会に続き、今回も警視庁様のお取り計らいにより、(有)シャドウスタンドプロダクションさんによる迫力あるスケアード・ストレイトが行われ、事故防止についてより深刻に考える貴重な機会となった。



自転車の急な飛び出しによるバイクとの衝突



バイクの急な方向変換による後続四輪車との衝突



バイクの前方不注意で四輪車に追突



四輪車の突然開いたドアにバイクが衝突



大型車両が左折時にバイクを巻き込む



展示していただいた4名のスタッフと司会者

15:45～16:05の間、表彰式及び閉会式が行われた。表彰式では、警視庁交通部 功刀管理官が団体優勝のセルートチームに警視庁交通部長表彰状を伝達され、副賞を授与された。次いで宮下副理事長が個人総合の優勝から第6位までの選手に理事長表彰状を伝達し、メダルと副賞を授与した。閉会式においては、功刀管理官が大会総評をされ、宮下副理事長が閉会挨拶を行った。晴天に恵まれ、成功裏に大会が終了した。



表彰式開始前の警視庁交通部各位



功刀管理官による団体優勝チームの表彰



宮下副理事長による個人総合入賞者の表彰



閉会式の様子



功刀管理官による大会総評



宮下副理事長による閉会挨拶

## 成 績

### 団 体 優 勝

セルートチーム (楸セルート)

大目颯真、隠岐田祐介、加藤雅史

### 個 人 総 合

順 位	氏 名	チ ャーム名
優 勝	赤塚 恭兵	ピザーラ
準優勝	大目 颯真	セルート
第3位	戸邊 隼輔	銀のさらB
第4位	岸田 修一	ピザーラ
第5位	戸邊 涼介	銀のさらB
第6位	小友 俊樹	銀のさらA



団体優勝のセルートチーム  
左から隠岐田(おきた)、大目(おおめ)、加藤の各選手



個人総合優勝の赤塚選手



個人総合準優勝の大目選手



個人総合第3位の戸邊(隼)選手



個人総合第4位の岸田選手



個人総合第5位の戸邊(涼)選手



個人総合第6位の小友選手

## 秋の全国交通安全運動開始に伴う警視庁池袋警察署出動式に参加

令和3年9月21日（火）09：20～10：00の間、JR池袋駅東口タクシー待機所内において、秋の全国交通安全運動開始に伴う警視庁池袋警察署出動式が行われ、第五交通機動隊ほか多数の団体等が参加した。SDAからは(株)カクヤスグループ（Dr:新井野（にいの）氏、立会:阿部氏・沖田氏・幸内氏）、(株)ストロベリーコーンズ（Dr:尾形氏、立会:岸本氏）、(株)セルート（Dr:隠岐田氏、立会:長澤氏）、(株)フォーシーズ（Dr:平山氏）、事務局村川の10名・4台が参加した。

09:30から式典が始まり、池袋警察署長、豊島区長、池袋交通安全協会長の挨拶があり、車両点検ののち、09：45から部隊が二陣に分かれて出動し、10：00に式典が終了した。この後立会者は黄色と赤色の「イケバス」に分乗し、白バイ2台の先導のもと、最後尾を警視庁広報車1台が続行して豊島区役所に向かい、玄関前で写真撮影を行い解散した。



SDA 部隊の勇姿

# SDA 初の自転車実技講習会開催

令和3年10月27日（水）14：00～16：00の間、荒川自然公園交通園（東京都荒川区荒川）において、SDA初の自転車実技講習会を警視庁交通総務課の指導のもとに開催した。今回は会員会社の指導的立場にある者7社11名が参加した。開講式の冒頭に村川理事が「自転車部会東京支部」設立の宣言を行った。講習に先立ち交通総務課 上矢（うわや）係長の指導講話があり、同課 平野主任以下3名の教官の指導で実技講習が行われた。

なお、電動アシスト自転車6台とヘルメットについて賛助会員の㈱シゲオーから支援を受けた。

令和4年度からは会員以外の企業等からも参加者を募り、期に1回程度の実技又は座学講習会（個別又は同日開催）を開催し、業界全体の交通安全管理態勢の向上に努めたい。



開講式の様子



上矢係長の指導講話



- 左：交差点における二段階右折要領展示
- 上：踏切の通過要領展示
- 左下：事前の走行コースの確認
- 下：講習終了後の記念撮影



## フード・デリバリー従事者等に対する警視庁自転車実技講習会に参加

令和3年11月17日（水）13：00～16：00の間、警視庁交通安全教育センターにおいて、警視庁交通部の指導によるフード・デリバリー従業員等に対する自転車講習会が開催され、約50名が参加し、SDAからは6社26名が参加した。最初に交通部作道交通総務課長の御挨拶と交通総務課上矢係長の指導講話があり、警視庁交通部による基本的事項の説明があったのち、(有)シャドウスタンドプロダクションさんによるスケアード・ストレイトの展示が行われた。

次いでNPO法人自転車活用推進研究会理事の疋田智（ひきた・さとし）講師から非常に具体的かつ実践的な御指導があった。



参加したデリバリー・スタッフ



作道交通総務課長挨拶



危険な傘差し運転



危険な飛び出し



車の陰から乳母車が出現



警視庁交通部による基本的事項に関する指導



疋田講師



疋田講師による実地教育

## 各地の実技講習会実施状況

令和3年度は一部の中止を除き、COVID-19感染防止対策を講じつつ概ね順調に実技講習会を開催し、合同講習会に参加した。

R 3 . 4 . 10 (土)

会 場 ● 祐天寺附属幼稚園駐車場 (合同)

指 導 ● 警視庁目黒警察署  
(一社) 日本二輪車普及安全協会



R3 . 4 . 12 (月)

会 場 ● 豊島自動車練習所 (合同)

指 導 ● 警視庁池袋警察署  
第五交通機動隊  
(一社) 日本二輪車普及安全協会





R3.4.19 (月)

会場・指導

● 阪神ライディングスクール

講話

● 兵庫県尼崎東警察署



R3.5.17 (月)

会場・指導 ● 寺原自動車学校 てらばる

講話 ● 熊本県警察本部交通企画課



運転席から二輪車の見え方を確認する  
▼



R3.5.27 (木)

会場・指導 ● 新潟中央自動車学校

講 話 ● 新潟県警察本部交通企画課



R3.5.28 (金)

会場・指導 ● 伏見デルタ

講 話 ● 京都府警察本部交通企画課



R3.6.21 (月)

会場 ● 厚木中央自動車学校

指導 ● 神奈川県厚木警察署  
ホワイトエンジェルス



▲ホワイトエンジェルス隊員の  
スリル溢れる展示走行

R3.6.23 (水)

会場 ● 京急茅ヶ崎自動車学校 (合同)

指導 ● 神奈川県茅ヶ崎警察署、ホワイトエンジェルス  
(一社) 日本二輪車普及安全協会



R3.9.27 (月)

会場 ● 豊島自動車練習所 (合同)

指導 ● 警視庁池袋警察署

第五交通機動隊

(一社) 日本二輪車普及安全協会



R3.9.29 (水)

会場 ● 京急茅ヶ崎自動車学校

指導 ● 神奈川県茅ヶ崎警察署

ホワイトエンジェルス

(一社) 日本二輪車普及安全協会



R3.10.4 (月)

会場 ● 茨木ドライビングスクール  
 指導 ● (一社) 日本二輪車普及安全協会  
 講話 ● 大阪府警察本部交通総務課  
 (一財) 大阪府交通安全協会

大阪府警察本部講話▶



大阪府交通安全協会講話



(一財) 大阪府交通安全協会による反射神経テスト▶



R3.10.19 (火)

会場・指導 ● きせがわ自動車学校



制動距離の測定



8の字走行

R3.11.15 (月)

会場・指導 ● 寺原自動車学校<sup>てらばる</sup>

講 話 ● 熊本県警察本部交通企画課

熊本県警察本部  
交通企画課の講話▶



◀交通企画課係長の指導により、飲酒状態体験ゴーグルを装着してバドミントンのシャトルコックを投げ合う。ゴーグルなしだと簡単に捕れるが、ゴーグルを装着すると捕るのが非常に困難になる。ゴーグルにはほろ酔い、酩酊初期、酩酊、泥酔という製品があり、それが昼夜別に製作されている。



▲四輪車の運転席から縦に3台並んだバイクがどのように見えるか、あるいは見えないかを確認する。



▲約80メートル先にある2台の車両はどちらが前にあるか判別できない。

▼近付いてみると四輪車が前にあることが分かった。



## 令和2年度の講習会実施結果

令和2年度も COVID-19の感染が収まらずに多くの実技講習会が中止となり、過去最少の実施回数と参加者数となった。

### ● 実技講習会

月/日	都道府県	会 場	関 係 機 関	参加者数
9/23	神奈川	京急茅ヶ崎自動車学校	指導:神奈川県茅ヶ崎警察署・ホワイトエンジェルス・日本二普協	7(合同)
9/28	東 京	豊島自動車練習所	指導:警視庁池袋警察署・第五交通機動隊・日本二普協	22
11/14	東 京	祐天寺附属幼稚園駐車場	指導:警視庁目黒警察署、日本二普協	4(合同)
11/16	熊 本	寺原自動車学校	指導:寺原自動車学校、講話:熊本県警察本部交通企画課	29
11/27	神奈川	保土ヶ谷公園A駐車場	指導:神奈川県保土ヶ谷警察署・ホワイトエンジェルス	16
12/12	東 京	祐天寺附属幼稚園駐車場	指導:警視庁目黒警察署、日本二普協	3(合同)
合 計				81

座学講習会は出席者が減少傾向にあることから講習会として設定せず、定例会議の冒頭に約30分間の講話を頂いた。参加者数も過去最少となった。

### ● 座学講習会

月/日	都道府県	会 場	関 係 機 関	内 容	参加者数
11/20	東京	日本倶楽部	東京都 都民安全推進本部	企業としての自転車の管理	15
2/19	東京	日本倶楽部	警視庁 交通総務課	自転車の交通安全管理	10
合 計					25

## 令和3年度無事故無違反運動参加状況

無事故無違反運動は、東京都は5名、46道府県は原則5名が1個チームとなって10月から4ヵ月間（46道府県）又は6ヵ月間（東京都）無事故無違反を競うものである。

令和2年度は COVID-19の感染拡大に伴いデリバリー業務が多忙となつてか、参加意欲が低調であったが、令和3年度は本運動の重要性を再認識したと思われ参加者数が対前年度126.7%と大幅に増加した。

都道府県	年 度		都道府県	年 度		都道府県	年 度		都道府県	年 度	
	02	03		02	03		02	03		02	03
北海道	548	605	新 潟	127	131	奈 良	81	110	熊 本	104	141
青 森	12	17	山 梨	35	65	和歌山	67	79	大 分	64	113
岩 手	58	57	長 野	153	141	鳥 取	10	15	宮 崎	20	15
宮 城	272	340	静 岡	145	220	島 根	5	5	鹿 児 島	20	57
秋 田	47	41	富 山	46	65	岡 山	112	151	沖 縄	50	72
山 形	45	55	石 川	78	80	広 島	245	284			
福 島	86	132	福 井	20	15	山 口	35	51			
東 京	1,910	2,160	岐 阜	101	168	徳 島	80	84			
茨 城	125	168	愛 知	1,321	1,580	香 川	85	101			
栃 木	89	129	三 重	162	208	愛 媛	95	115			
群 馬	109	158	滋 賀	24	61	高 知	61	77			
埼 玉	349	486	京 都	245	582	福 岡	293	419			
千 葉	337	414	大 阪	814	1,034	佐 賀	45	96			
神奈川	602	792	兵 庫	404	474	長 崎	85	84			

(単位:人)

人数合計	
03年度	12,447
02年度	9,821
前年比	126.7%

過去のチーム達成率を見ると、46道府県では9年連続で向上しており、東京都においては50%台を維持しつつ、3年連続で向上している。運転記録証明（3年間）申請費用は一人当たり670円だが、協議会の経費で170円を補助している。

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
参加会社数	20	18	18	19	16	17	15	15	14	16
参加人数	13,642	12,278	10,976	11,789	12,043	12,738	11,645	11,336	9,821	12,448
達成率	46道府県	59.5%	60.4%	63.1%	63.2%	66.5%	69.7%	70.8%	75.3%	78.4%
	東京都	30.3%	37.1%	37.7%	36.8%	46.7%	46.2%	51.9%	53.7%	59.4%

## 社会貢献活動 (チラシ配布)

### ● 神奈川県警察本部生活安全部の チラシ配布 (令和3年9月～10月)

神奈川県警察本部生活安全部犯罪抑止対策室からチラシ (写真右) を8,000部受領し、㈱ストロベリーコーンズと㈱出前館が各4,000部、商品配達時に配布した。両社の活動の様子は同警察本部のホームページとツイッター (写真下) で紹介された。

神奈川県警察本部生活安全部の  
詐欺防止チラシ▶



▲神奈川県警察本部のツイッター記事 (ストロベリーコーンズと出前館の配達の様子)



● 千葉県警察本部生活安全部の特ラシ配布(令和3年7~8月・10~11月)

千葉県警察本部生活安全部犯罪抑止推進室から特ラシを受領し、以下の要領で配布した。

◆ 7~8月：10,000部

(株)壺番屋1,600部、(株)ドミノ・ピザ ジャパン1,200部、日本ピザハット(株)2,800部、(株)フォーシーズ4,400部。

日本ピザハットの活動の様子(写真下)は8月10日付の毎日新聞地方版で紹介された。



配達スタッフに特ラシを手渡し、説明するピザハット店長



千葉県警察本部詐欺防止特ラシ

◆ 10~11月：10,000部

(株)出前館3,000部、(株)ピーシーエス1,000部、ポケットフーズ(株)2,000部、ワタミ(株)4,000部。



千葉県警察本部詐欺防止特ラシ(表)



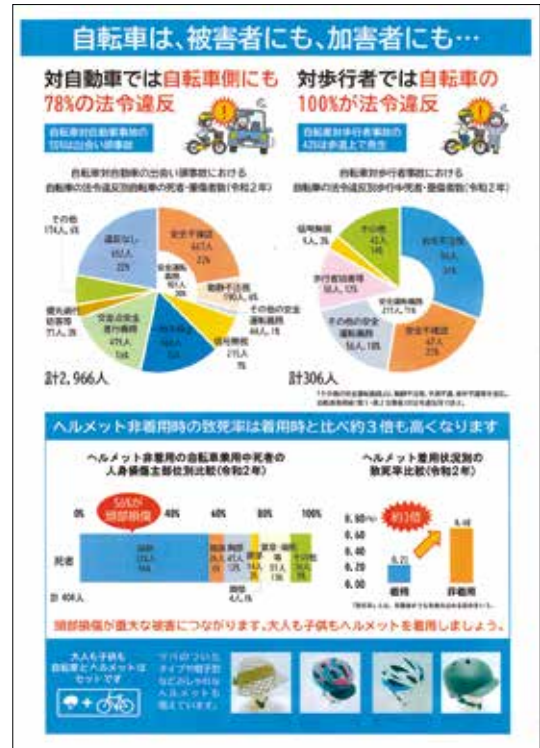
千葉県警察本部詐欺防止特ラシ(裏)

# 警察庁及び警視庁からのPDFリーフレットを会員各店舗に送信

警察庁及び警視庁からのPDF版リーフレットを各店舗に送信し、指導の徹底を図った。



警察庁自転車ヘルメット着用推進リーフレット(表)



警察庁自転車ヘルメット着用推進リーフレット(裏)



警視庁二輪車事故防止リーフレット



警視庁自転車事故防止リーフレット

# 全日本デリバリー業安全運転協議会会員一覧表

(令和4年 1月13日 現在)

正会員	賛助会員(宅配外)
(株)壺番屋	(株)アールエス タイチ
(株)カクヤスグループ	a i d e a(株)
(株)サンライズサービス	U b e r J a p a n(株)
(株)シカゴピザ	W o l t J a p a n(株)
(株)ストロベリーコーンズ	N E C ネクサソリューションズ(株)
(株)デルソーレ	(株)大阪シゲオー
(株)フォーシーズ	(株)オルセン
(株)ライドオンエクスプレスホールディングス	(有)ガレージ・アイ
(株)ワイズテーブルコーポレーション	(株)ぐるなび
ワイビー(株)	(株)高陽印刷所
	(株)コスモトレードアンドサービス
	(株)サーカム
	シェアフル(株)
	ジェネクスト(株)
	(株)シゲオー
	(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会
	ソシオコーポレーション(株)
	(株)ソフィアマックス
	損害保険ジャパン(株)
	(株)チクマ
	(株)ティーズ
	(株)トキワ
	(株)ドッグファイトレーシング
	豊田T R I K E(株)
	(一社)日本自動車連盟
	(株)ヒガ・インダストリーズ
	(株)ブレイズ
	ホシザキ東京(株)
	(株)ホンダモーターサイクルジャパン
	(株)マジカルレーシング
	ヤマハ発動機販売(株)
	(有)ラック工房

# 全日本デリバリー業安全運転協議会の概要

略称 SDA (Safety Driving Association, Safety Driving Always)

1. 設立 平成5(1993)年9月22日

2. 会員数(令和4年1月13日現在)

(1) 正会員(デリバリー業) 10社 1,790店舗

(2) 賛助会員(デリバリー業) 14社 2,081店舗

(3) 賛助会員(デリバリー業以外) 32社

3. 役員構成

理事長 浅野 秀則 (株)フォーシーズ 代表取締役会長兼CEO)

副理事長 宮下 雅光 (株)ストロベリーコーンズ 代表取締役社長)

理事 安達 史郎 (株)壺番屋 常務取締役)

江見 朗 (株)ライドオンエクスプレスホールディングス 代表取締役社長)

大河原 愛子 (株)デルソーレ 代表取締役会長)

佐藤 順一 (株)カクヤスグループ 代表取締役社長)

中野 雅弘 (株)シカゴピザ 代表取締役社長)

村川 淳一 (全日本デリバリー業安全運転協議会 事務局)

監事 木村 大吾 (株)ワイズテーブルコーポレーション 執行役員)

松村 幾敏 (株)サンライズサービス 代表取締役社長)

名誉顧問 大崎 隆三 (元全日本デリバリー業安全運転協議会 理事)

4. 評議員

笠井 聰夫(元皇宮警察本部長)

佐々木 知子(弁護士、帝京大学法学部教授、元検事、元参議院議員)

石附 弘(日本市民安全学会会長、元長崎県警察本部長)

入谷 誠(一般財団法人全日交通安全協会 専務理事、元関東管区警察局長)

アーネスト・エム・比嘉(株)ヒガ・インダストリーズ 代表取締役会長兼社長)

5. 主たる事業

(1) 安全運転マニュアルの発行(店長用及び宅配従業員用)

(2) 安全運転実技講習会

(3) 安全運転競技大会の開催(全国大会及び東京都大会)

(4) 無事故無違反運動への参加(東京都)及び開催(46道府県)

(5) 店舗管理者等対象の座学講習会

交通安全管理、車両保険、店舗における防犯活動及び民事介入暴力団対策等

(6) 機関誌「SCRUM」の発行

(7) 店頭標章(ステッカー)の作成・配布

## 編集後記

令和元年12月末に発生した新型コロナ・ウイルス COVID-19は残念ながら未だに終息の兆しを見せないどころか逆に次の大波を形成しようとしています。一方、食品等のデリバリーの需要は堅調で、特に都市部においては自転車利用によるデリバリーが活発化しており、その安全運転管理がますます重要になってきました。これを受けて当協議会は「自転車部会 東京支部」を令和3年10月27日に設立しました。今後は、会員のみならず会員以外の企業等にも実技・座学講習会に参加していただき、自転車にかかわる安全管理の輪の拡大に寄与してまいりたい所存です。

編集人：村川 淳一

**SCRUM** NO.77

■発行日：2022年2月

■発行：全日本デリバリー業安全運転協議会  
東京都千代田区神田神保町1-24  
加藤KKビル401号室

■編集人：村川淳一 ■制作協力：高陽印刷所